

学校教育目標	人間性豊かで、知性にあふれ、心身ともにたくましい実践力のある生徒の育成
育成を目指す資質・能力	学習習慣の確立と学力・体力の向上

	学力状況について	学習状況について
児童生徒の課題	各種学力調査の分析結果から明らかになった課題 ○ほとんどの教科、領域、観点で、多くの項目が大分県平均を超えることができたが、全国平均や目標値に到達できていない項目もある。 ○全体的に資料の読み取りや、説明して書く問題に課題がある。	各種学力調査の分析結果から明らかになった課題 ○資料を読み取り、説明する活動を授業中に行い、単元テストや定期テストにつなげていく必要がある。朝自習の読み取り活動にもつなげる。 ○記述問題の無回答率が高いため、テストを受ける際の時間配分や部分点の説明など、基本的なところからアドバイスを行う必要がある。
	これまでの学力向上の取組に対する児童生徒の状況(授業及び授業以外の側面から) ○進んで授業を受けている。(94%) ○「聴く・考える・伝える」活動を取り入れた授業で考えを伝えようとしている。(94%) ○ICT機器を活用することが、授業や家庭学習の役に立っていると感じる。(98%) ○授業の「目標(めあて)」が達成でき、「課題」が解決できるように取り組むことができている。(96%) ○授業の「まとめ」や「振り返り」で学習内容が再確認でき、理解を深めることができている。(94%)	
指導の状況	1 組織的な授業改善の取組状況 ○「めあて」「振り返り」「課題」「まとめ」を明確にした(明中授業スタイルを意識した)授業展開95% ○教材や板書を工夫し、グループ活動を取り入れた分かりやすい授業づくりに努めている90% ○ICT機器を活用して、分かりやすい授業づくりに努めている85% ○自分の授業で生徒に一人1台端末を活用させている74% 2 その他の学力向上に向けた指導の取組状況 ○各学年の実態に応じて朝学習を充実させる。読書の大切さを意識させつつ、教科の学習や社説などの読み取り活動などを行っている。 ○デジタルドリルの教職員研修を行い、一人1台端末を活用した家庭学習例を示したり、宿題を出したりするように教員内で情報共有を行った。 ○「話し上手、聴き上手な明中生」掲示を作成し、発表の際の話し方、文の作り方のテンプレートを与えた。	

学力に関する達成指標

<ul style="list-style-type: none"> ○進んで授業を受けている生徒95%以上 ○「聴く・考える・伝える」活動を取り入れた授業で考えを伝えようとしている生徒90%以上 ○ICT機器を活用して、授業や家庭学習に取り組んでいる生徒95%以上 ○授業の「目標(めあて)」が達成でき、「課題」が解決できるように取り組むことができている生徒95%以上 ○授業の「まとめ」や「振り返り」で学習内容が再確認でき、理解を深めることができている生徒95%以上
--

今後の具体的な取組	【授業改善】 〈授業改善のテーマ・重点〉 思いや考えを伝え、協働して学び合う生徒の育成 ○「主体的・対話的で深い学び」に向けた授業の創造 ○「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実	【家庭・地域との協働】
	〈取組内容〉 ○「個別最適な学び」「協働的な学び」のための教科部会の実施 各学期ごとに、成果と課題について話し合う。 ○明中授業スタイルの徹底 「わかる授業」づくりに向けて、授業改善を図る。	〈家庭・地域の取組内容〉 ○家庭学習を自分で考えて実施できる生徒の育成 ・家庭との連携を図る ・全職員での学習支援
	〈取組指標〉 ○「聴く・考える・伝える」活動を取り入れた授業で考えを伝えようとしているか、アンケートで確認する。 ○授業の「目標(めあて)」が達成でき、「課題」が解決できるように取り組むことができているか、授業の「まとめ」や「振り返り」で学習内容が再確認でき、理解を深めることができているかをアンケートで確認する。	〈家庭・地域の取組指標〉 ①教職員は、その日の家庭学習時間を確認すると同時に家庭で把握してもらう。 ②課題を忘れた生徒に対して全職員で支援するように共通理解する。
	〈検証指標〉 ○「聴く・考える・伝える」活動を取り入れた授業で考えを伝えようとしている生徒90%以上 ○授業の「目標(めあて)」が達成でき、「課題」が解決できるように取り組むことができている生徒95%以上 ○授業の「まとめ」や「振り返り」で学習内容が再確認でき、理解を深めることができている生徒95%以上	〈家庭・地域の検証指標〉 ①子どもの家庭学習時間を把握している家庭、教職員90%以上 ②子どもの家庭学習時間を把握している教職員、家庭学習の習慣が身に付くような取組をしている教職員90%以上
	【授業改善以外の学力向上の取組】 ○各学年の実態に応じた朝学習の充実。教科の学習や社説などの読み取り活動などを継続して計画的に行っていく。 ○家庭と連携し、家庭学習時間を把握するとともに、家庭学習に自分なりの工夫をさせ、次の授業に生かせるような姿勢を育む。 ○デジタルドリルやロイロノートなど、一人1台端末を活用した家庭学習の指導を進める。	